

鎌ヶ谷市郷土資料館年報

第 34 号

[令和 2 年度]

鎌ヶ谷市郷土資料館

# 目 次

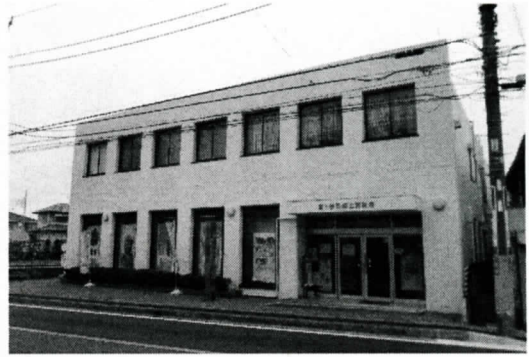
I	管理・運営	
1	施 設	1
2	予 算	1
3	組 織	1
4	日 誌 抄	2
II	館 事 業 報 告	
1	常 設 展 示	4
2	常設展示観覧者数	5
3	ミ ニ 展 示	6
4	新規収蔵資料展示	10
5	収 蔵 資 料 展 示	10
6	教 育 普 及 活 動	13
7	当館学芸員講師派遣	14
8	資 料 閲 覧 実 績	14
9	収 蔵 資 料 の 利 用	14
10	市内 歴史・民俗資料調査	15
11	資料収集(寄贈・寄託資料)	15
12	歴史資料等の整理・収集状況	16
13	古文書修補	16
14	レファレンス	17
15	博 物 館 実 習	18
16	ボランティア活動	18
17	刊 行 物	18
18	市ホームページ掲載記事	18
19	刊行物の売払実績	19
III	条 例 ・ 規 則	
○	鎌ヶ谷市郷土資料館設置及び管理条例	20
○	鎌ヶ谷市郷土資料館設置及び管理条例施行規則	21
○	鎌ヶ谷市史編さん審議会条例	21
IV	寄 贈 図 書	26
	<b>【市内小学生 出前授業の感想】</b>	
○	西部小学校	32
○	北部小学校	32

# I 管 理・運 営

## 1 施 設

〈施設概要〉

- 建物名称 鎌ケ谷市郷土資料館
- 所在地 鎌ケ谷市中央1-8-31
- 開館年月日 昭和62年4月1日
- 構造 鉄筋コンクリート造2階建
- 敷地面積 480.14㎡
- 建築面積 336.70㎡
- 延床面積 668.67㎡
- 見取図

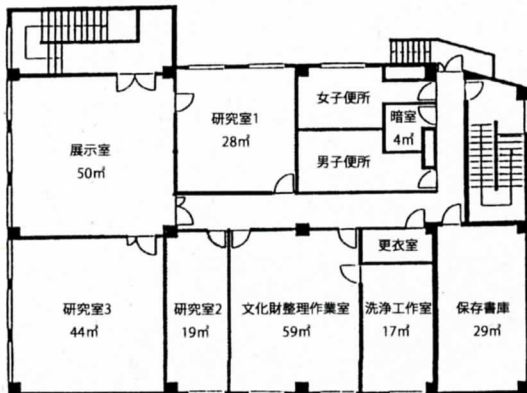


郷土資料館の外観

### 1 階



### 2 階



## 2 予 算

項目	内容	予算額 (千円)
報酬	パートタイム会計年度任用職員報酬	4,316
職負手当等		400
報償費	講師謝礼	124
旅費	費用弁償、普通旅費	356
需用費	消耗品費、燃料費 印刷製本費、光熱水費、修繕料	2,627
役務費	通信運搬費、保険料	195
委託料	清掃委託 空調設備保守点検委託 古文書修補業務委託 機械警備委託 消防設備保守点検委託 消毒委託、自動ドア保守点検委託	1,548
使用料及び貸借料	リーダープリンター使用料 パソコン使用料 複写機使用料 AED借上料 ガス漏れ警報器借上料	1,176
工事請負費	郷土資料館空調機改修工事	1,254
備品購入費	郷土資料館用備品	50
負担金補助及び交付金	千葉県史料保存活用連絡協議会負担金 千葉県博物館協会負担金	13
当初予算額		12,059

## 3 組 織

- ・館長 1名 (学芸員)
- ・主任主事 1名 (学芸員)
- ・再任用職員 1名 (学芸員)
- 1名 (事務職)
- ・非常勤職員 6名 (内 学芸員3名、  
事務補助3名)

#### 4 日誌抄

〈令和2年〉

3月1日～6月1日 臨時休館（新型コロナウイルス感染症まん延防止対策として）

4月1日～12日 資料再整理（民俗資料等／収蔵室）

10日 資料寄贈（歴史資料／個人）

11日 聞き取り調査（個人宅）

現地調査（初富共同墓地、馬頭観音他石塔）

14日～ 資料整理（歴史資料）

15日～5月8日 資料再整理（歴史・民俗資料／収蔵室）

24日 資料借用延長（歴史資料／個人）

26日 学芸員会議①【館内】

5月9日～13日 資料整理（民俗資料）

13日 文化財保管施設（旧あわのや＝以下同表記）利用打合せ

26日 現地調査（玉川旅館（船橋市））

資料移動（民俗資料／旧あわのや）

29日 歴史公文書選別（市役所地下書庫・旧クリーンセンター）

6月2日 常設展示室のみ再開

『鎌ヶ谷市郷土資料館だより』第51号発行  
資料寄贈（美術資料／個人）

4日 資料借用（歴史資料／個人）

5日 歴史公文書選別・搬入（外部倉庫（山武市））

11日 資料整理（研究室）

12日・13日 資料整理（書庫）

14日 資料移動（民俗資料等／旧あわのや）

17日・18日 資料整理（民俗資料）

19日 学芸員会議②【館内】

24日 資料借用（歴史資料／個人）

26日 資料閲覧（歴史資料／柏市史編さん担当）

7月1日 取材（館内撮影／千葉テレビ）

3日 資料借用（歴史資料／個人）

7日 『鎌ヶ谷市史』旧上巻無償配布開始  
資料寄贈（民俗資料／個人）

8日 資料閲覧（歴史資料／松戸市牧馬会）

12日 資料閲覧（歴史資料／個人）

13日 出前授業（西部小学校6年生100名）

17日 学芸員会議③【館内】

18日 資料閲覧（歴史資料／松戸市牧馬会）

現地調査（個人宅）

現地調査（個人宅）

21日 古文書修補打合せ

22日 資料寄贈（民俗資料／個人）

資料借用（歴史資料／個人）

28日 資料閲覧（歴史資料／市企画政策室）

31日 現地調査（個人宅）

8月1日 現地調査（個人宅）

資料閲覧（歴史資料／柏市史編さん担当）

資料整理（歴史資料／書庫）

7日 取材（収蔵資料展示／船橋よみうり）

資料閲覧（歴史資料／個人）

13日 資料寄贈（民俗資料／個人）

14日～22日 博物館実習（5名）

15日 『鎌ヶ谷市郷土資料館だより』第52号発行

21日 館内見学（県立鎌ヶ谷高校関係者3名）

27日 千葉県史料保存活用連絡協議会運営委員会（千葉県文書館）

29日 学芸員会議④【館内】

9月2日 歴史公文書引取（市役所地下書庫・旧クリーンセンター）

9日 資料寄贈（民俗資料／個人）

10日 資料貸出（戦争関係資料／第四中学校）

13日 現地調査（個人宅）

17日 資料返却・借用（歴史資料／個人）

17日・18日 資料整理（旧あわのや）

18日 資料閲覧（歴史資料／松戸市牧馬会）

資料閲覧（歴史資料／個人）

19日 調査立会（中沢貝塚貝層剥ぎ取り）

19日・20日 資料整理（歴史公文書／旧あわのや）

23日 資料返却受入（戦争関係資料／第四中学校）  
資料移動（台風12号対応／旧あわのや）

24日 資料閲覧（考古資料／千葉市立加曾利貝塚博物館）

25日 学芸員会議⑤【館内】

資料返却・借用期限延長（歴史資料／個人）

27日 資料閲覧（歴史資料／國學院大學准教授）

29日 資料寄贈（歴史資料／個人）

30日 資料寄贈（民俗資料／個人）

聞き取り調査（個人宅）

10月1日 聞き取り調査（個人宅）

2日 資料整理（民俗資料／南部小学校）

資料貸出（考古資料／千葉県立中央博物館）

3日 資料整理（歴史公文書／旧あわのや）

4日 資料整理（歴史公文書／旧あわのや）

資料借用（歴史資料／個人）

8日 学習資料相談（第二中学校）

9日 資料借用（歴史資料／個人）

資料貸出（考古資料／千葉市立加曾利貝塚博物館）

- 11日 資料借用(歴史資料/個人)
- 15日 『鎌ヶ谷市郷土資料館だより』第53号発行
- 22日 東京修復保存センターへ修補古文書引渡
- 23日 資料返却(民俗資料/個人)
- 24日 資料整理(民俗資料/旧あわのや)  
新資料展示開始(～1/31)
- 25日 資料整理(民俗資料/旧あわのや)
- 27日 校正依頼(那珂川町小学校副読本/栃木県  
那珂川町馬頭広重美術館)
- 28日 資料利用(写真データ/道路河川管理課)
- 29日 資料閲覧(歴史資料/個人)
- 11月4日 資料寄贈(民俗資料/個人)  
資料寄贈(歴史・民俗資料/個人)
- 8日 郷土資料館セミナー①(28名)
- 9日 現地調査(個人宅)
- 11日 資料閲覧(歴史資料/環境課)
- 13日 現地調査(栗野庚申講庚申塔造立)
- 20日 学芸員会議⑥【館内】  
資料整理(民俗資料/南部小学校)
- 22日 郷土資料館セミナー②(27名)
- 24日 現地調査(個人宅)
- 26日 資料寄贈(民俗資料/個人)
- 27日 資料整理(民俗資料/南部小学校)
- 28日 資料整理(歴史公文書等)
- 12月5日～9日 古文書点検
- 6日 聞き取り調査(個人/資料館事務室)
- 8日 出前授業(北部小学校4年生57名)  
資料寄贈(歴史資料/個人)
- 10日 現地調査(個人宅)  
郷土資料館セミナー③(25名)
- 11日 資料整理(紀要・図録及び文化財報告書類  
/旧あわのや)
- 13日 現地調査(個人宅)
- 15日 館利用打合せ(市内演劇団)
- 16日 資料整理(民俗資料/南部小学校)  
資料移管(歴史公文書/給食センター)
- 17日 郷土資料館セミナー④(27名)
- 18日 学芸員会議⑦【館内】  
学芸員会議【課内】  
資料返却受入(考古資料/千葉県立中央  
博物館)
- 19日 現地調査(個人宅)
- 24日 資料館セミナー⑤(27名)
- 25日 発掘調査立会(東中沢・向原遺跡第9次)
- 27日 東京修復保存センターより修補済古文書納品
- 1月20日・28日 資料移動(民俗資料/第四中学校)
- 28日 取材対応(「ほくそう」掲載記事)/北総鉄道)
- 29日 学芸員会議⑧【館内】  
現地調査(個人宅・豊作稲荷神社)
- 31日 新資料展示終了(10/24～)  
資料閲覧(歴史資料/サークル「高砂第一  
工場」)  
資料寄贈(歴史・民俗資料/初富三峯講)
- 2月12日 館内臨時学芸員会議  
資料借用(歴史資料/個人)
- 15日 『鎌ヶ谷市郷土資料館だより』第54号発行
- 20日 現地調査(清田家墓地)
- 21日 資料閲覧(歴史資料/サークル「高砂第一  
工場」)
- 26日 学芸員会議⑨【館内】
- 3月3日 資料閲覧(写真データ/市開発指導室)
- 4日 資料閲覧(歴史資料/個人)  
貸出資料返却(考古資料/千葉市立加曾利  
貝塚博物館)
- 5日 千葉県史料保存活用連絡協議会運営委員会  
(千葉県文書館)
- 7日 資料返却(歴史資料/個人)  
資料返却(歴史資料/個人)
- 12日 千葉県博物館協会による災害時伝達訓練
- 13日 第23回ミニ展示「小金牧ものがたり」開始  
(～5/9)
- 14日 歴史講演会①(27名)
- 17日 資料返却(歴史資料/個人)  
資料返却(歴史資料/個人)  
館内見学(市企画政策室)
- 18日 資料閲覧(写真データ/市建築住宅課)
- 24日 館内見学(市教育委員会委員)
- 25日 『郷土資料館年報』第33号令和元年度発行
- 26日 学芸員会議⑩【館内】  
資料閲覧(歴史資料/柏市史編さん担当)  
資料借用期限延長(歴史資料/個人)
- 28日 歴史講演会②(26名)
- 31日 資料寄贈(民俗資料/個人)  
資料寄贈(歴史資料/個人)  
資料寄贈(民俗資料/個人)  
資料寄贈(歴史資料/県立鎌ヶ谷高等学校)  
資料寄贈(歴史・民俗資料/個人)

## II 館 事 業 報 告

### 1 常設展示

#### 【展示テーマ】

「鎌ヶ谷に生きた人々の暮らし」

鎌ヶ谷市内に残されている自然・考古・歴史・民俗等の資料を中心に、原始・古代から現代までの各時代に生きた、鎌ヶ谷の人々の生活を明らかにすることをテーマとしています。

[土にきざまれた鎌ヶ谷]

#### 旧石器時代

○鎌ヶ谷に人が住みはじめたころ

#### 縄文時代

- 根郷貝塚に埋葬された人々
- 中沢貝塚発掘調査のあゆみ
- 貝塚を掘る
- 中沢貝塚の大型竪穴建物跡

市内では、今から約 30,000 年前の旧石器時代の東林跡遺跡などが確認されていますが、縄文時代に入るとさらに多くの遺跡が確認されています。その中でも代表的な根郷貝塚・中沢貝塚などから出土した土器・石器を中心に展示しており、特に根郷貝塚出土の人骨は県内でも貴重な資料です。

#### 古墳時代

○新たな時代の幕開け —古墳時代の鎌ヶ谷—

#### 奈良時代～平安時代

- 奈良・平安時代のムラ
- 墨書土器と鉄製品

市内では現在のところ、弥生時代の遺跡は確認されていません。その後、古墳時代では一本松遺跡など、奈良時代では大堀込遺跡などが確認されています。平安時代初期の双賀辺田No.1 遺跡は特殊な性格をもった集落跡として注目され、遺物と復元住居を展示しています。

#### 鎌倉時代～戦国時代

- 板碑 —中世の人びとの祈り—
- 佐津間城と佐津間村の人びと
- 市域出土の中世陶器

市内には佐津間城跡などの中世遺跡がいくつか確認されています。その中でも中沢の根郷No.1 遺跡や万福寺境内遺跡から出土した板碑・蔵骨器・灯明皿などを展示しているほか、市域の地名が初めて登場する古文書や佐津間城について写真で紹介しています。

[牧と鎌ヶ谷宿]

#### 江戸時代

○田中藩南相馬領の村々

江戸時代の鎌ヶ谷市域の村の様子を知ることができる検地帳などの古文書を展示しています。

- 下総の脇街道「木下道」
- 鎌ヶ谷宿と鎌ヶ谷大仏

渡辺崋山が描いた「四州真景図」など、江戸時代に利根川沿岸と江戸を結んだ木下街道の宿場として栄えた鎌ヶ谷宿関係の資料を展示しています。

- 国史跡「下総小金中野牧跡」
- 牧士三橋家と清田家

江戸時代の鎌ヶ谷市域には、江戸幕府直営の小金中野牧が広がっていました。牧の管理を担った牧士三橋家文書などを展示しています。

- 絵図でみた市域の村① —鎌ヶ谷村—
- 絵図でみた市域の村② —軽井沢新田—

江戸時代の市域の村々を残された絵図から紹介しています。

- 寺子屋で学んだ子どもたち

[新しい時代の胎動]

#### 幕末・維新

- 草莽の志士 渋谷総司
- 市川・船橋戦争と市域

市内佐津間出身の幕末の志士で赤報隊の幹部渋谷総司関係の史料、市川・船橋戦争関係の史料など幕末・維新期の史料を展示しています。

## 明治時代～平成時代

### ○初富の開墾

### ○開墾の父 北島秀朝

中野牧を開墾して成立した初富村の人々の苦勞を伝える「養蚕大絵馬」などの資料を展示しています。

### ○学校のあゆみ

近代日本の発展と深い関係のある教育関連資料として、明治～昭和初年の教科書や年表を展示しています。

### ○鎌ケ谷鉄道発展史

鎌ケ谷に関係の深い東武鉄道・新京成電鉄や、明治末～大正期にかけて木下街道に敷かれた東葛人車鉄道の写真パネルを展示しています。

### ○村から町へ、町から市へ

明治時代から第二次世界大戦直後まで農業が主体だった鎌ケ谷市域は、高度経済成長と首都圏への人口集中を経て、東京近郊の住宅都市へと生まれ変わります。明治・大正・昭和・平成の間に大きく変貌した市域を紹介しています。

### ○戦場に赴いた人々

### ○戦時下の暮らし

日中戦争・太平洋戦争と戦争が拡大・長期化するなかで、鎌ケ谷市域からも多くの人々が戦場に赴き、多数の人が命を落としました。このなかには、特攻隊員として出撃し、帰らぬ人となった尾白文四郎伍長もいます。

また、銃後の鎌ケ谷村では、雑穀などの収穫をふやし、食料増産に取り組みました。

## [鎌ケ谷の民俗]

### ○谷津田の米作り

鎌ケ谷の米づくりは、下総台地に切れ込んだ谷津で行われていました。その概要がわかるように農具・写真パネル等を展示しています。

### ○様々な農具

明治～昭和期にかけての生活をイメージする手助けとなるよう、昔の家族の団らんの場で使用された民具等を展示しています。

## 2 常設展示観覧者数

入館者カードによる集計 単位：人、日  
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	市外	市内	男	女	大人	子ども	合計	日数
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	44	65	75	34	94	15	109	25
7月	52	50	69	33	90	12	102	25
8月	71	117	116	72	141	47	188	25
9月	55	59	81	33	101	13	114	25
10月	55	77	92	40	119	13	132	27
11月	57	111	111	57	137	31	168	23
12月	55	102	102	55	136	21	157	24
1月	42	56	70	28	81	17	98	23
2月	65	79	86	58	126	18	144	22
3月	76	120	126	68	179	15	196	25
合計	572	836	928	478	1,204	202	1,408	244

### 3 ミニ展示

#### 第23回ミニ展示

【小金牧ものがたり～野馬と牧士と野付村～】

場所：郷土資料館 1・2階展示室

期間：令和3年3月13日～5月9日

(44日間 464名入場)

江戸時代、下総台地には幕府直営の馬の牧場が広がっており、このうち市域を含む千葉県北西部には小金牧がありました。

牧に放たれていた馬は、「野馬」と呼ばれました。また、牧を管理する現地の責任者は「牧士」、周辺の村々は「野付村」と呼ばれました。

今回の展示では、野馬と牧士と野付村と呼ばれる周辺の村人たちとの関わりを古文書や絵図を中心に、近年新しく発見された資料なども含め、現物資料、写真パネル等で、小金牧への理解を深めることを目的としました。

なお、この展示は令和元年度末に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により延期したものです。

〔展示内容〕

《プロローグ》

国史跡「下総小金牧中野牧跡」の保存と活用

- ①描かれた小金牧
- ②捕込と野馬土手―牧場の施設―
- ③牧場に生育する野馬たち
- ④牧士―鎌ヶ谷村の清田家と中沢村の三橋家―
- ⑤牧付・野付の村々

《エピローグ》

野馬と牧場の名残と記憶



展示の様子

A colorful poster for the exhibition. The title is '小金牧ものがたり ~中野牧の野馬と牧士と野付村~'. The poster features several illustrations, including a horse, a landscape, and a person. It includes the dates '3月13日' and '5月9日', the location '郷土資料館 2階展示室', and the admission fee '入館無料'. There is also a map of the area and contact information for the museum.

ミニ展示ポスター



○第23回ミニ展示アンケート集計結果(入場者数464人、回答者数77人、回答率17%)

Q1 ご性別

選択肢	回答数	割合
男	49	64%
女	24	31%
無回答	4	5%
計	77	100%

Q2 ご年齢

選択肢	回答数	割合
小学生以下	4	5%
中学生	1	1%
15～19歳	4	5%
20歳代	0	0%
30歳代	8	10%
40歳代	6	8%
50歳代	10	13%
60～64歳	5	6%
65～69歳	6	8%
70歳以上	33	43%
無回答	0	0%
計	77	100%

Q3 お住まいの地域

選択肢	回答数	割合
鎌ケ谷市	34	44%
隣接市	31	40%
鎌ケ谷市・隣接市以外	6	8%
東京・神奈川・埼玉	5	6%
その他	1	1%
無回答	0	0%
計	77	100%

Q4 来館方法

選択肢	回答数	割合
徒歩	16	21%
自転車	16	21%
自家用車	19	25%
公共交通機関	25	32%
その他	1	1%
無回答	0	0%
計	77	100%

Q5 来館回数

選択肢	回答数	割合
初めて	34	44%
2～5回	19	25%
6～10回	13	17%
10回以上	11	14%
無回答	0	0%
計	77	100%

Q6 来館の同行者

選択肢	回答数	割合
一人	50	65%
家族	18	23%
友人	6	8%
学校などの団体	2	3%
その他	0	0%
無回答	1	1%
計	77	100%

Q7 企画展を知った方法

選択肢	回答数	割合
市役所等公共施設(ポスター)	30	36%
駅・商業施設(ポスター)	4	5%
市役所・資料館ホームページ	10	12%
鎌ケ谷市twitter	0	0%
その他インターネット	1	1%
広報かまがや	6	7%
Ciaoなど情報誌	0	0%
人から聞いて・誘われて	7	8%
来室して知った	16	19%
その他	9	11%
無回答	0	0%
計	83	100%

複数回答者6名

Q8 企画展の分かりやすさ

選択肢	回答数	割合
よくわかった	44	57%
まあまあわかった	23	30%
ふつう	3	4%
やや難しかった	1	1%
難しかった	1	1%
無回答	5	6%
計	77	100%

Q9 詳しい説明が欲しい資料

選択肢	回答数	割合
なし	37	48%
あり	11	14%
無回答	29	38%
計	77	100%

Q11 企画展の満足度

選択肢	回答数	割合
満足	44	57%
まあまあ満足	19	25%
ふつう	1	1%
やや不満	1	1%
不満	0	0%
無回答	12	16%
計	77	100%

- ・「ミニ展示」と銘打たれていますが、充実した展示でした。当地は緑が多く、広大な牧で野馬を扱っていたことを初めて知りました。(隣接市/無回答/50歳代)
- ・過去に開催された企画展を引き継がれ、現在にも配布・掲示されている所が素晴らしい。又、多くの専門家や市民が資料作りに取り組まれている、且つ多面的に歴史を掘り起こしていて、科学者の私でも興味深く拝見することが出来ました。大満足です。ありがとうございました。(県外/男/30歳代)
- ・今回の展示に限らず、全般的に展示物が増え、説明もわかりやすいものになって良いと思います。発掘物の年代の明記は特に良いと思います。(市内/男/50歳代)
- ・育成していた馬がどんな種類で、どんな使われ方をしたか図や絵で見ることが出来れば良かった。(隣接市/男/40歳代)
- ・小規模ながら見どころが大変多く充実した内容です (隣接市/男/70歳以上)
- ・古い資料(絵図類)をパネルにして掲出していただけるのはありがたい。ただし、現在の地名等補足していただくと更にわかりやすかったと思う(隣接市/男/60~64歳)
- ・毎回良い企画有難う御座います。コロナ禍の中で来館をちゅうちょしましたが、来て良かったです。(市内/男/65~69歳)
- ・鎌ヶ谷市が野馬土手とその歴史をだいに保存・研究していることがわかり感激しました。展示は見応えがありました。ありがとうございます。(市内/女/60~64歳)
- ・できれば、簡単な図録等が作成されていたら、良いと思いました。(隣接市/男/70歳以上)
- ・市内外に土手が多く疑問に思うところがあったが、理由、歴史を学べて興味深かった。(隣接市/男/30歳代)
- ・文字をもう少し大きくしていただきたい。(市内/男/70歳以上)
- ・本物とかもあって分かりやすかった。主に昔のひらがなが面白かった!(市内/無回答/中学生)
- ・市内の学生(中学生)に是非、見せて郷土を知ってもらいたい。丸屋など文化財に指定されているが、古い建物のみが建っており、皆、通りすぎるだけです。案内板を設置して貰い、地元、通行人に認識を得られるよう配慮ください。(隣接市/男/70歳以上)
- ・うん、まあまあ(市内/女/小学生以下)
- ・現在の地図と当時の牧の地図の対比がわかるとよい(隣接市/男/70歳以上)
- ・小金牧について知る事ができた。(市内/男/30歳代)
- ・色んな貴重なものが見られた。(県外/男/30歳代)
- ・野馬土手と捕込を散策し、史跡として良く保存されていた。(隣接市/男/70歳以上)
- ・私は歴史が大好きなので、たのしかった。資りょうがおおくて、よかったです。(市内/女/15~19歳)
- ・展示物が見やすく、楽しんで知識を増やすことができたから。(隣接市/女/15~19歳)
- ・文化財かわかりませんが、中沢の八幡様の松の切り株を大切に戴きたく思います。大部傷んでいますね。(その他/女/70歳以上)
- ・知らない所がわかった(隣接市/男/70歳以上)
- ・字が小さくてよみづらいです。(市内/女/50歳代)
- ・勉強になりました。楽しかったです。(市内/女/30歳代)
- ・地域の歴史について、知る事は、有意義であると思う。(市内/女/60~64歳)
- ・写真はわかり易い。説明文の文字がちょっと小さいと思いました。(県内/男/70歳以上)
- ・優しく丁寧な対応をしてくれて、コロナウイルス感染対策もしっかりしていて、安心してまわる事ができました。また来たいです。(隣接市/女/15~19歳)

- ・釜原の絵画（峯山筆）の全巾を拡大して見てみたい。（富士山が描かれている？）（県内/男/70歳以上）
- ・鎌ヶ谷市も古くから人が住んでいたんですね。（県内/男/70歳以上）
- ・素晴らしい企画展、若い人はこのような点に触れ郷土を愛して欲しいと思います。折角このような立派な展示をされた担当者に心からお礼を申し上げたいと思います。この内容の図録を作って頂ければ後世の人も喜びます。是非お願いします。（市内/男/70歳以上）
- ・豊富な古文書、読んでみたい。（隣接市/男/70歳以上）
- ・中野牧・下野牧一絵図（野々山氏蔵）で、田喜野井村の記入位置がちがうように見える。書写者の関心の所在（遠方？への関心の薄さ）を示しているのか？（市内/男/40歳代）
- ・野馬土手見学ツアーなど企画して下さい（市内/女/70歳以上）
- ・もっと鎌ヶ谷を知りたい。（隣接市/男/70歳以上）
- ・江戸時代の関東地方、房総、下総の旧地図、とてもおもしろいです。資料の整理等にかかわったみなさんの努力と「能力」におどろきました。（県内/男/65～69歳）
- ・流山にも土手が残るのですがくわしい資料がないので、この展示でよく分かりました。（隣接市/女/50歳代）
- ・昔の資料についてとてもよかった。また次の展示期待したい（隣接市/無回答/40歳代）
- ・コンパクトにまとめられていた。（隣接市/男/70歳以上）
- ・絵図、写真などが多く感覚的に把握しやすい。各パネルの文章中のキーワードを際立たせる（着色の大文字）とポイントが判る。（隣接市/男/70歳以上）
- ・自分の知らない分野で、見ていて新鮮だった。面白かったです！（県内/女/15～19歳）
- ・初めてきましたが、知らなかったことを知れて勉強になりました。（県外/女/40歳代）
- ・いつも企画展を楽しみにしています。これからも続けてください。（県外/男/50歳代）
- ・改めまして、鎌ヶ谷と馬の歴史を確認することができました。いち早くコロナが落ち着き、春の牧ウマまつりが復活することを願っています。また相馬・南相馬から騎馬武者が来ることも！（隣接市/男/40歳代）
- ・旧石器時代から近現代まで、長い期間について興味深い展示、分かりやすい解説がなされていた事に感服致しました。大変充実していると思います。（隣接市/男/65～69歳）
- ・明治の東京窮民による開拓との関係を知ることができた。（隣接市/男/70歳以上）
- ・牧士のことは、よくわかりました。（市内/女/50歳代）

#### 4 新資料展示

【新発見！鎌ヶ谷のたからもの  
～文化財に親しもう～】

場所：郷土資料館 2階展示室

期間：令和2年10月24日

～令和3年1月31日

(77日間 486名入場)

令和元年度中に郷土資料館が調査・整理した歴史・民俗資料と文化係が発掘・調査した埋蔵文化財を展示し、市民が文化財に親しむ機会を設けるとともに、資料館・文化係の活動成果を市民に還元した。

また、11月1日～7日の1週間は「文化財保護強調週間」であることから、市民に対して文化財の重要性とその保護についての周知を図りました。あわせて、市内ではじめて国の登録有形文化財として登録される「澁谷家住宅」「丸屋」を、周知のため紹介しました。



新資料展の展示品

#### 5 収蔵資料展示

【vol. 19 収蔵資料展示

銃後の鎌ヶ谷・終戦75周年記念展示】

場所：郷土資料館 1階収蔵資料展示コーナー

期間：令和2年6月2日～令和3年3月5日

令和2年は、昭和20年(1945)に終戦を迎えてからちょうど75年の節目にあたります。

昭和12年から始まった日中戦争、同16年には始まった太平洋戦争では、市域から多くの人が戦争に駆り出されました。そして約200名が鎌ヶ谷村から遠く離れた戦地などで亡くなっています。

一方で、村に残された人々も昭和13年に制定された国民の戦争協力を義務化させる「国家総動員法」のもとで、政治的にも経済的にも言論・行動を規制されていきます。さらには物資・軍馬の供出などの様々な戦争への支援を求められました。

「銃後」とは戦場の後方であって支援する場や人を指します。鎌ヶ谷村も銃後の村として戦争協力が求められました。この展示では、当時の人々の様子を資料とともに紹介しました。



収蔵資料展示の様子

○新資料展示アンケート集計結果(入場者数486人、回答者数49人、回答率10%)

Q1 ご性別

選択肢	回答数	割合
男	30	61%
女	19	39%
無回答	0	0%
計	49	100%

Q2 ご年齢

選択肢	回答数	割合
小学生以下	17	35%
中学生	1	2%
15～19歳	1	2%
20歳代	1	2%
30歳代	2	4%
40歳代	6	12%
50歳代	6	12%
60～64歳	0	0%
65～69歳	3	6%
70歳以上	12	24%
無回答	0	0%
計	49	100%

Q3 お住まいの地域

選択肢	回答数	割合
鎌ヶ谷市	31	63%
隣接市	16	33%
鎌ヶ谷市・隣接市以外	0	0%
東京・神奈川・埼玉	1	2%
その他	1	2%
無回答	0	0%
計	49	100%

Q4 来館方法

選択肢	回答数	割合
徒歩	15	31%
自転車	18	37%
自家用車	5	10%
公共交通機関	8	16%
その他	2	4%
無回答	1	2%
計	49	100%

Q5 来館回数

選択肢	回答数	割合
初めて	18	37%
2～5回	20	41%
6～10回	6	12%
11回以上	4	8%
無回答	1	2%
計	49	100%

Q6 来館の同行者

選択肢	回答数	割合
一人	29	59%
家族	11	22%
友人	8	16%
学校などの団体	0	0%
その他	0	0%
無回答	1	2%
計	49	100%

Q7 企画展を知った方法

選択肢	回答数	割合
市役所等公共施設(ポスター)	9	17%
駅・商業施設(ポスター)	1	2%
市役所・資料館ホームページ	3	6%
鎌ヶ谷市twitter	0	0%
その他インターネット	2	4%
広報かまがや	3	6%
Ciaoなど情報誌	2	4%
人から聞いて・誘われて	2	4%
来室して知った	19	37%
その他	8	15%
無回答	3	6%
計	52	100%

複数回答者3名

Q8 企画展の分かりやすさ

選択肢	回答数	割合
よくわかった	20	41%
まあまあわかった	14	29%
ふつう	6	12%
やや難しかった	2	4%
難しかった	0	0%
無回答	7	14%
計	49	100%

Q9 詳しい説明が欲しい資料

選択肢	回答数	割合
なし	29	59%
あり	7	14%
無回答	13	27%
計	49	100%

Q11 企画展の満足度

選択肢	回答数	割合
満足	25	51%
まあまあ満足	11	22%
ふつう	6	12%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
無回答	7	14%
計	49	100%

- ・中部小学校のことがもっと知りたい。(鎌ケ谷市/女/小学生以下)
- ・地域性がより強く感じられて楽しかった(隣接市/男/15~19歳)
- ・5才の娘が、興味を持って見ていました。また来たいと言っています。(鎌ケ谷市/女/40歳代)
- ・とても内容の濃い展示で満足しております。文化財を大切になさっている方々の思いが伝わってきます。(隣接市/男/50歳代)
- ・長田家文書、とにかく読めなかったです。(鎌ケ谷市/女/小学生以下)
- ・1階の昔の人の家が木や竹みたいなもので作られていたからすごい!(鎌ケ谷市/女/小学生以下)
- ・前掛け、いろいろな地域とのつながりがわかって興味を持ちました。軍事郵便も、それぞれ興味深かったです。(鎌ケ谷市/女/70歳以上)
- ・わからないことをすぐにこたえてくれたので、勉強になりました。(鎌ケ谷市/女/小学生以下)
- ・足元、身近なものにこそ、歴史、文化の価値があるということがわかりました。(隣接市/男/65~69歳)
- ・キャプションがていねいに記されており、よく理解できました。(鎌ケ谷市/男/70歳以上)
- ・学校の社会(歴史)の教科書にはのっていないことや、のっているものでも、くわしい説明がたくさんかかれていて、見ていてとても楽しかったです!また、昔の生活の様子や、昔の道具のことがいろんな所にたくさん書いてあったので分かりやすかったし、とても楽しかったです!また来ます!(鎌ケ谷市/女/小学生以下)
- ・事務室脇に展示してある松の切り株の本体一部(中沢の八幡様入口)大部腐食していました。現在はどうなっているのでしょうか?気になります。(鎌ケ谷市/女/70歳以上)
- ・昭和も平成も終り、やっと日本らしくなりかけそうな令和、過去を深く知りおこせれば、日本の源氏の歴史に貢献できる。(隣接市/男/50歳代)
- ・鎌ケ谷市の歴史が理解出来ました。感謝致します。(鎌ケ谷市/男/70歳以上)
- ・手ぬぐいや前掛けの展示が多すぎるのでは。その分希少価値のある文化財の解説に割いてほしい(東京・神奈川・埼玉/男/40歳代)
- ・とてもいろいろな物があり説明などもされていてわかりやすかったです。(鎌ケ谷市/女/小学生以下)
- ・階段に貼って下さっている六実の交差点、六実の青果市場。(松戸市に子供のころ住んでいて、六実の近くまで行ったことがあったので、見覚えはないですが「へー!」と思いました。)1F階段手前にある大きな航空写真も楽しい。鎌ケ谷駅の古い写真(今と比べるとすごい!)。新鎌ケ谷駅は(以前は森だったから)もっとスゴイですけど。(隣接市/女/50歳代)
- ・埋蔵文化財はもう少し目印の場所を書いていただくとわかると思います!!(鎌ケ谷市/女/50歳代)
- ・絵などがあってとてもわかりやすかったのですがよめない漢字などがありました。ふりがなをつけてみたらどうでしょう。(鎌ケ谷市/男/小学生以下)
- ・もっと写真類があると良いと思います。六高台付近にゴルフ場があったと聞きましたが、その辺の展示もあると良いと思います。(鎌ケ谷市/男/65~69歳)
- ・このような企画展があると、できるだけ来るようにしています。広報かまがやで、もっと目立つように宣伝して欲しいです。出しているのですが、目立ちません。(鎌ケ谷市/男/50歳代)
- ・いろいろなものがあって、おもしろかったです。(鎌ケ谷市/女/小学生以下)
- ・自宅、五香駅、高柳、六実、新鎌谷、北初富、くぬぎ山、五香と歩いています。今日、施設を拝見、良い勉強になりました。お掃除が良くされていて感心しました。ありがとうございました。(隣接市/男/70歳以上)

## 6 教育普及活動

### 【郷土資料館セミナー】

#### 「東葛地域の近世」

地域の歴史を振り返る際に現在の行政区域のみに注目するのではなく、「東葛地域」というより広い範囲に焦点をあてることにより、異なる時代の支配領域や文化の繋がりなどにもふれながら、市域と市域に関連する歴史を紐解きました。

今回は近世史の専門家を招聘し、市民の方に東葛地域の歴史を分かりやすく解説していただきました。

場所：生涯学習推進センター  
(まなびいプラザ) 研修室1

- ①「資料からさぐる御鹿狩」  
講師：富澤達三氏(松戸市立博物館学芸員)  
〈11/8〉(28名)
- ②「近世後期鎌ヶ谷の教育  
～手習塾「安川舎」の場合～」  
講師：竹中友亮氏(千葉歴史学会会員)  
〈11/22〉(27名)
- ③「流山にもあった！ 中野牧関連資料」  
講師：上條静香氏(流山市立博物館学芸員)  
〈12/10〉(25名)
- ④「東葛地域の馬牧場『小金牧』」  
講師：金澤真嗣氏(馬の博物館学芸員)  
〈12/17〉(27名)
- ⑤「船橋の資料から浮かび上がる鎌ヶ谷の近世」  
講師：小田真裕氏  
(船橋市郷土資料館学芸員)  
〈12/24〉(27名)



セミナーの様子

### 【歴史講演会】

第23回ミニ展示「小金牧ものがたり」の関連企画として、「牧」をテーマとした連続講座を開催しました。

江戸幕府は、直轄の馬の牧場として現在の千葉県に小金・佐倉・嶺岡の3牧を設置しました。

第1回は、幕府による牧の運営である馬政について、第2回は、牧に放牧されていた半野生馬である「野馬」について、牧研究者に最新の研究成果を基に講演いただきました。

場所：生涯学習推進センター  
(まなびいプラザ) 研修室1

- ①「吉宗政権と房総の牧」  
講師：吉岡孝氏(國學院大學教授)  
〈3/14〉(27名)
- ②「ゆくウマ くるウマ  
～中野牧の上ヶ馬・父馬・御払馬～」  
講師：高見澤美紀氏(國學院大學講師)  
〈3/28〉(26名)



歴史講演会の様子

## 7 当館学芸員講師派遣

月日	派遣先	内容	場所	人数
7/13	市立西部小学校	6年生社会科授業「鎌ヶ谷のあゆみで見る日本のあゆみ～大昔の鎌ヶ谷の暮らしをのぞいてみる～」	西部小学校特別教室	100
12/8	市立北部小学校	4年生授業「のこしたいもの つたえたいもの」	北部小学校特別教室	57
合計				157

## 8 資料閲覧実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	1	4	2	4	1	1	0	1	1	4	19

## 9 収蔵資料の利用

期日・期間	資料名	利用者	利用内容	種類
4/1～ 3/31	林跡遺跡出土遺物	県立中央博物館	常設展（通年貸出）	展示
5/	写真画像データ「木下街道」 「鎌ヶ谷宿丸屋前」「初富交差点」 「すずらん通り」「鎌ヶ谷大仏」	株式会社ココロマチ	Webエリアガイド「あいとつと」 の「鎌ヶ谷エリア今昔」	掲載
9/14	東林跡遺跡出土ナイフ型石器写真	有限会社アート・エフ	駿台文庫株式会社発行『青パック市販版』学校販売教材本文資料図版	掲載
9/10～ 9/23	もんぺ、半着、防空頭巾、戦時郵便貯金切手、衣料切符、『夏の修練』	市立第四中学校	3年生の平和学習授業で利用	授業
9/24～	大堀込遺跡出土土器、土偶、中沢貝塚出土土器	千葉市立加曽利貝塚博物館	令和2年度企画展「あれもEこれもE—加曽利E式土器 北西部地域編—」	展示
10/2～ 1/10	中沢貝塚出土土偶、根郷貝塚出土人骨、イルカ類下顎製腰飾り、イノシシ牙製腕輪、深鉢	県立中央博物館	令和2年度企画展「ちばの縄文—貝塚からさぐる縄文人の暮らし—」（10/10～12/13）	展示
10/28	写真画像データ「木下街道」	市道路河川管理課	『第4次鎌ヶ谷市歩道等総合整備計画』裏表紙	掲載
2/5	『鎌ヶ谷のあゆみ（4訂版）』掲載写真および広報引き継ぎ写真画像データ	市企画政策室	J:COM取材用資料	放送
3/31	平成17年度企画展図録『戦争の記録と記憶in鎌ヶ谷』より「武蔵野カンツリー倶楽部・藤ヶ谷コース正門」写真	柏市教育委員会	『かしわ歴史ハンドブック—近・現代—』	転載



## 10 市内 歴史・民俗資料調査

月 日	調 査 内 容	調 査 先	調 査 者
4 / 11	物置・屋敷神・巨木調査及び聞き取り	個人宅（鎌ヶ谷）	学芸員1名、職員1名
5 / 26	小金谷春嶺画	玉川旅館（船橋市湊町）	学芸員1名
5 / 29	令和元年度末廃棄市歴史公文書選別	本庁地下倉庫、旧クリーンセンター	学芸員2名
6 / 5	令和元年度末廃棄市歴史公文書選別・搬入	市公文書用外部倉庫（山武市）	学芸員3名
7 / 18	小金谷春嶺画「牡丹」	個人宅（佐津間）	学芸員1名、職員1名
7 / 18	小金谷春嶺画「牡丹」	個人宅（栗野）	学芸員1名、職員1名
7 / 31	民具調査および聞き取り	個人宅（道野辺本町）	学芸員2名
8 / 1	位牌調査	個人宅（佐津間）	学芸員1名、職員1名
9 / 13	近衛輜重大隊兵士	個人宅（中沢）	学芸員1名
9 / 30	所蔵古写真についての聞き取り	個人宅（新鎌ヶ谷）	学芸員1名
10 / 1	高札およびその他歴史資料についての聞き取り	個人宅（道野辺）	学芸員2名・文化係職員1名
11 / 9	母屋保存資料調査	個人宅（中佐津間）	学芸員3名、文化係職員3名、設計業者1名
11 / 13	栗野庚申講庚申塔造立	八坂神社（栗野）	学芸員2名、文化係職員2名
11 / 20	所蔵民具調査	南部小学校文化財保管室	学芸員4名
11 / 24	母屋保存資料調査	個人宅（中佐津間）	学芸員3名、文化係職員3名
12 / 6	個人所蔵写真内容聞き取り、商店についての聞き取り	資料館事務室	学芸員2名
12 / 10	建物（母屋）調査、所蔵資料調査	個人宅（初富）	学芸員1名、文化係職員1名、設計業者2名
12 / 13	屋敷地樹木調査、聞き取り調査	個人宅（初富）	学芸員1名
12 / 19	聞き取り調査	個人宅（初富）	学芸員1名、文化係職員1名
1 / 29	初富三峯講資料調査および寄贈受納	個人宅（初富）、豊作稲荷神社	学芸員1名
2 / 20	墓石調査	清田家墓地（鎌ヶ谷）	学芸員1名

## 11 資料収集(寄贈・寄託資料)

No.	月 日	種類	所蔵者	内 容	点 数	備 考
1	4 / 10	寄贈	個人	歴史資料	17	東京オリンピック記念切手ほか
2	6 / 2	寄贈	個人	美術資料	2	小金谷春嶺画
3	7 / 7	寄贈	個人	民俗資料	1	アイロン
4	7 / 22	寄贈	個人	民俗資料	1	強国靴下更生器
5	8 / 13	寄贈	個人	民俗資料	4	戦時中の衣服
6	9 / 9	寄贈	個人	民俗資料	9	

7	9/29	寄贈	個人	歴史資料	1	国家総動員物資愛護家庭経済心得 絵本
8	9/30	寄贈	個人	民俗資料	1	石臼
9	11/4	寄贈	個人	歴史・民俗 資料	5	鎌ヶ谷小学校第二分校写真ほか
10	11/4	寄贈	個人	民俗資料	3	衣服
11	11/26	寄贈	個人	民俗資料	2	
12	12/8	寄贈	個人	歴史資料	1386	プリペイドカード、日露戦争従軍 記章
13	1/31	寄贈	初富三峯講	歴史・民俗 資料	33	初富三峯講関係資料
14	3/31	寄贈	個人	民俗資料	1	高下駄
15	3/31	寄贈	個人	歴史資料	1	新京成電鉄TTC完成記念乗車券
16	3/31	寄贈	個人	民俗資料	1	ポラロイドカメラ
17	3/31	寄贈	県立鎌ヶ谷高等学 校	歴史資料	1	鎌ヶ谷市贈緞帳断片
18	3/31	寄贈	個人	歴史・民俗 資料	※733	画像・映像資料は一括
合 計					2, 202	

## 12 歴史資料等の整理・収集状況

### ○市内・市外史料群の整理

- ・〔中佐津間〕個人旧蔵文書 222点
- ・〔鎌ヶ谷〕個人蔵文書 363点
- ・〔中佐津間〕個人蔵文書・同旧蔵文書 591点
- ・〔新鎌ヶ谷〕個人旧蔵文書 363点
- ・〔船橋市湊町〕玉川旅館旧蔵（絵画） 2点
- ・〔東中沢〕個人旧蔵文書 8点
- ・〔初富〕旧初富三峯講旧蔵文書 31点
- ・〔白井市復〕個人旧蔵文書 1点

### ○写真の収集（スキヤニング）

- ・〔初富〕個人旧蔵写真 4カット（紙焼2枚分）
- ・〔東中沢〕個人蔵写真  
15カット（紙焼15枚分）
- ・〔道野辺中央〕個人蔵写真 43カット  
（アルバム3冊のうち紙焼52枚分）
- ・〔東初富〕個人蔵写真 48カット  
（アルバム印刷写真1冊分）

### ○歴史公文書の移管・整理

- 令和元年度末保存期限満了公文書 16箱
- 簿冊目録 103点

## 13 古文書修補

市内に所在する古文書を利用・保護するため、損傷・劣化したものを主としてリーフキャストリングにより修補しました。本年度は、「浅海弘一家文書（中沢の名主家文書）」第1次・第3次のうち19点の修補を実施しました。

## 14 レファレンス

	市内	市外	大人	子ども	来館	電話	メール	講座	その他	合計 (件)	人数
4月	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1
5月	2	1	3	0	0	3	0	0	0	3	3
6月	4	3	7	0	4	0	3	0	0	7	7
7月	7	6	13	0	11	1	1	0	0	13	13
8月	5	8	13	0	10	0	2	0	1	13	16
9月	4	4	7	1	7	1	0	0	0	8	10
10月	4	3	7	1	6	2	0	0	0	8	9
11月	4	1	5	0	4	1	0	0	0	5	5
12月	1	3	4	0	2	1	1	0	0	4	4
1月	1	4	5	0	3	0	2	0	0	5	6
2月	4	5	9	0	1	4	2	0	2	9	10
3月	17	6	23	0	16	4	0	3	0	23	24
合計	54	44	97	2	64	17	12	3	3	99	108

※1 来館には、企画展入場も含む

※2 教室には、講師派遣も含む

## 15 博物館実習

〈実習生〉

- ・淑徳大学人文学部歴史学科4年生
- ・聖徳大学文学部文学科3年生
- ・大正大学文学部歴史学科4年生
- ・東洋大学文学部東洋思想文化学科4年生
- ・八州学園大学生涯学習部履修生

〈期間〉

- ・8月14日(金)～8月22日(日)

〈内容〉

- ・施設見学
- ・学芸員の業務、教育普及について
- ・古文書の修補
- ・資料整理
- ・考古資料・歴史資料・民俗資料の取扱
- ・写真パネル展示の準備・設置

## 16 ボランティア活動

〈イベント補助〉

- ・郷土資料館セミナー  
(11月8日・22日 12月10日・17日・24日)
- ・歴史講演会 (3月14日・28日)

## 17 刊行物

- ・令和元年度 郷土資料館年報 第33号  
(3月25日発行)  
A4判・40頁 300部
- ・資料館だより  
第51号(6月2日発行)  
A4判・2頁 500部
- 第52号(8月15日発行)
- 第53号(10月15日発行)
- 第54号(2月15日発行)  
各 A4判・4頁 500部

## 18 市ホームページ掲載記事

「郷土資料館って何をするとところ？」シリーズ

No.	更新日	タイトル
1	4月10日	休館中の資料館で行われていること
2	4月19日	鎌ヶ谷が市になった日の看板
3	5月4日	昭和の小学生の夏休み
4	5月11日	鎌ヶ谷宿の旅籠で使われていた道具
5	5月26日	明治時代の旅
6	6月11日	100年前のパンデミック 「スペイン風邪」の史料(1)
7	6月27日	100年前のパンデミック 「スペイン風邪」の史料(2)
8	7月11日	100年前のパンデミック 「スペイン風邪」の史料(3)
9	8月1日	銃後の鎌ヶ谷 米の供出と三福飯
10	8月25日	銃後の鎌ヶ谷 戦時中の結婚式
11	9月8日	関東大震災(97年前の相模トラフ巨大地震)の史料(1)
12	9月19日	関東大震災(97年前の相模トラフ巨大地震)の史料(2)
13	10月6日	台風被害の史料(1)大正6年9月30日の「十五夜の嵐」
14	10月30日	台風被害の史料(2)「安政江戸台風」による佐津間村の被害調査
15	11月17日	鎌ヶ谷結婚今昔物語(1)結婚の諸儀礼
16	2月1日	民間信仰の史料(1)初富三峯講の規約
17	2月14日	民間信仰の史料(2)くぬぎ山の野馬観音講の掛け軸と石塔

## 17 刊行物の売払実績

No.	書 籍 名	発 行 年	売 払 冊 数
1	鎌ヶ谷市史（上巻）【改訂版】	平成26年	5
2	鎌ヶ谷市史（中巻）	平成9年	6
3	鎌ヶ谷市史（下巻）	平成29年	3
4	鎌ヶ谷市史（別巻）	平成15年	3
5	鎌ヶ谷市史（別巻2）（自然）	平成23年	1
6	鎌ヶ谷市史資料編Ⅰ（考古）	平成22年	2
7	鎌ヶ谷市史資料編Ⅱ（金石文）	昭和60年	1
8	鎌ヶ谷市史資料編Ⅲ・下（近世2）	平成4年	1
9	鎌ヶ谷市史資料編Ⅳ・上（近・現代1）	平成7年	1
10	鎌ヶ谷市史資料集14（鎌ヶ谷市史料目録第三集）	平成13年	1
11	鎌ヶ谷市史資料集15（鎌ヶ谷市史料目録第四集）	平成16年	1
12	鎌ヶ谷市史資料集16（鎌ヶ谷市史料目録第五集）	平成16年	1
13	鎌ヶ谷市史資料集17（近・現代 聞き書き）	平成20年	1
14	鎌ヶ谷のあゆみ（四訂版）	平成29年	9
15	鎌ヶ谷市史研究第3号	平成2年	1
16	鎌ヶ谷市史研究第4号	平成3年	4
17	鎌ヶ谷市史研究第8号	平成7年	1
18	鎌ヶ谷市史研究第16号	平成15年	1
19	鎌ヶ谷市史研究第17号	平成16年	1
20	鎌ヶ谷市史研究第19号	平成17年	1
21	鎌ヶ谷市史研究第20号	平成19年	1
22	鎌ヶ谷市史研究第21号	平成20年	4
23	鎌ヶ谷市史研究第22号	平成21年	4
24	鎌ヶ谷市史研究第23号	平成22年	2
25	鎌ヶ谷市史研究第24号	平成23年	1
26	鎌ヶ谷市史研究第26号	平成25年	8
27	鎌ヶ谷市史研究第27号	平成26年	1
28	鎌ヶ谷市史研究第28号	平成27年	4
29	鎌ヶ谷市郷土資料館調査報告Ⅰ（東葛印旛・大師講）	平成元年	4
30	鎌ヶ谷市郷土資料館調査報告書Ⅳ（鎌ヶ谷の古文書）	平成5年	1
31	鎌ヶ谷市郷土資料館調査報告書Ⅶ（鎌ヶ谷の野鳥）	平成11年	1
32	平成9年度企画展図録（一本松遺跡展）	平成10年	1
33	平成13年度企画展図録（かまがやの板碑）	平成14年	6
34	平成14年度企画展図録（慶応四年・明治元年の記憶in鎌ヶ谷）	平成15年	4
35	平成15年度企画展図録（大堀込遺跡と根郷貝塚）	平成16年	2
36	平成16年度企画展図録（林の生き物ウォッチング）	平成16年	3
37	平成18年度企画展図録（旅と鎌ヶ谷）	平成19年	2
38	平成21年度企画展図録（鎌ヶ谷・昭和の日々〈写真集〉）	平成22年	6
39	平成23年度企画展図録（絵図と地図でみた鎌ヶ谷の400年）	平成24年	7
40	平成24年度企画展図録（地区の歴史と文化財⑤-佐津間-）	平成25年	10
41	平成25年度企画展図録（高度経済成長と鎌ヶ谷）	平成25年	2
42	平成26年度企画展図録（地区の歴史と文化財⑥-中沢-）	平成27年	7
43	平成28年度企画展図録（昔なつかしい鎌ヶ谷の民具①-生業と道具-）	平成29年	6
44	平成29年度企画展図録（鎌ヶ谷・おふだづくし～信仰の玉手箱～）	平成30年	6
合 計 売 払 冊 数			138

### Ⅲ 条 例 ・ 規 則

#### ○鎌ヶ谷市郷土資料館設置及び管理条例

昭和62年1月5日条例第5号  
改正 平成26年3月19日条例第6号

#### (設置)

第1条 郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集し、これを保管及び展示して、市民の利用に供し、その教養、学術及び文化の発展に寄与するため、鎌ヶ谷市郷土資料館（以下「資料館」という。）を設置する。

#### (名称及び位置)

第2条 資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
鎌ヶ谷市郷土資料館	鎌ヶ谷市中央一丁目8番31号

#### (管理)

第3条 資料館は、鎌ヶ谷市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が管理する。

#### (事業)

第4条 資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集及び保管に関すること。
- (2) 資料の展示及びその説明助言に関すること。
- (3) 資料に係る調査研究等に関すること。
- (4) 資料に係る講演会及び研究会等の開催に関すること。
- (5) 市史の編さんに関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、資料館の目的を達成するために必要な事業

#### (開館時間)

第5条 資料館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

#### (休館日)

第6条 資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日）
- (3) 12月29日から翌年1月3日まで

#### (入館の制限)

第7条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 展示品又は施設等をき損するおそれがあるとき。
- (3) その他資料館の管理上支障があるとき。

#### (損害賠償)

第8条 入館者は、資料館の施設若しくは資料等をき損し又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の事情があると認めるときは、賠償額の全部又は一部を免除することができる。

#### (指定管理者による管理)

第9条 資料館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、教育委員会が指定する者（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

#### (指定管理者が行う管理の基準)

第10条 前条の規定により指定管理者に資料館の管理を行わせる場合、当該指定管理者が行う管理の基準は、次に掲げるものとする。

- (1) 資料館の開館時間は、第5条に定めるところによる。
  - (2) 資料館の休館日は、第6条に定めるところによる。
  - (3) 資料館の入館の制限は、第7条に定めるところによる。
- 2 前項第1号の規定にかかわらず、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得て、資料館の開館時間を変更することができる。
- 3 第1項第2号の規定にかかわらず、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得て、資料館の休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

#### (指定管理者が行う業務の範囲)

第11条 第9条の規定により指定管理者に資料館の管理を行わせる場合、当該指定管理者が行う業務は、次に掲げるものとする。

- (1) 第4条に規定する事業に係る業務
- (2) 施設の維持管理（教育委員会が定めるものを除く。）に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が必要があると認める業務

#### (指定管理者による管理を行う場合の読替規定)

第12条 第9条の規定により、指定管理者に資料館の管理を行わせる場合は、第3条及び第7条の規定中「鎌ヶ谷市教育委員会」又は「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えて、これらの規定を適用する。

#### (委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

#### 附 則

この条例は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月19日条例第6号抄）

#### (施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

○鎌ケ谷市郷土資料館設置及び管理条例施行規則

昭和62年2月26日教委規則第4号

改正 平成元年2月21日教委規則第4号

平成元年10月27日教委規則第20号

平成17年7月28日教委規則第7号

平成26年3月31日教委規則第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、鎌ケ谷市郷土資料館設置及び管理条例(昭和62年鎌ケ谷市条例第5号。以下「条例」という。)第13条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(職員)

第2条 鎌ケ谷市郷土資料館(以下「資料館」という。)に館長その他必要な職員を置く。

(資料の館外貸出)

第3条 資料の館外貸出を受けようとする者は、貸出承認申請書(別記第1号様式)を鎌ケ谷市教育委員会(以下「教育委員会」という。)に提出し、資料貸出許可書(別記第2号様式)の交付を受けなければならない。

2 資料の館外貸出しを受けることができる者は、次のとおりとする。

(1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部科学大臣の指定した博物館に相当する施設

(2) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館

(3) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館

(4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校

(5) その他教育委員会が適当と認める者

(資料の寄託)

第4条 教育委員会は、資料館の展示又は研究に資する目的で、資料の寄託を受けることができる。

2 資料を寄託しようとする者は、資料寄託申込書(別記第3号様式)を教育委員会に提出するものとする。

3 教育委員会は、資料を受託したときは、受託品預り証(別記第4号様式)を寄託者に交付しなければならない。

4 教育委員会は、受託した資料の模写、模型製作、写真撮影等を行い、又はこれを公刊しようとするときは、事前に寄託者の承諾を得なければならない。

5 第三者が、前項の行為をしようとするときは、館長は寄託者の承諾を確認しなければならない。

6 受託資料が災害その他避けられない事故により損害を生じたときは、教育委員会は、その責を負わない。

(指定管理者による管理を行う場合の読替規定)

第5条 条例第9条の規定により資料館の管理を指定管理者に行わせる場合は、第3条第1項中「鎌ケ谷市教育委員会(以下「教育委員会」という。)」とあるのは「指定管理者」と、第3条第2項及び第4条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第4条中「館長」とあるのは「指定管理者」と、別記第1号様式から別記第4号様式までの規定中「鎌ケ谷市

教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、必要な事項については、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則(平成元年2月21日教委規則第4号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成元年10月27日教委規則第20号)

この規則は、平成元年11月1日から施行する。

附 則(平成17年7月28日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成26年3月31日教委規則第4号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

○鎌ケ谷市史編さん審議会条例

昭和62年3月28日 条例第13号

(設置)

第1条 鎌ケ谷市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じて、本市の市史編さんに関する基本的事項を調査審議するため、鎌ケ谷市史編さん審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、次に掲げる事項の調査審議を行う。

市史編さんの基本方針に関すること。

市史編さん計画に関すること。

その他教育委員会が必要と認めること。

(組織)

第3条 審議会は、委員5人以内で組織し、学識経験者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の在任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、市史編さん主管課において処理する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、昭和63年4月1日から施行する。

館 外 貸 出 承 認 申 請 書

年 月 日

鎌ヶ谷市教育委員会 様

申込団体名  
所 在 地  
電 話  
代表者氏名

鎌ヶ谷市郷土資料館の資料を、下記により借用したいので申請します。

記

1 借用の目的

2 借用期間 年 月 日 から 年 月 日

3 利用の場所

4 利用の方法

5 借用したい資料

資 料 名	数 量	備 考

6 輸送方法

7 資料取扱責任者

8 備 考



館外資料貸出許可書

年 月 日

様

鎌ヶ谷市教育委員会

年 月 日付けで申請のあった鎌ヶ谷市郷土資料館の資料の館外貸出については、下記のとおり許可します。

- 1 利用目的
- 2 貸出期間
- 3 利用の場所
- 4 利用の方法
- 5 貸出資料

資 料 名	数 量	備 考

- 6 輸送方法

資料寄託申込書

年 月 日

鎌ヶ谷市教育委員会 様

申込者住所

氏 名

職 業

電 話

鎌ヶ谷市郷土資料館の資料として下記のとおり寄託したので申し込みます。

記

物 品 名	数 量	寄託期間	備考（希望事項等）

受 託 品 預 り 証

年 月 日

様

鎌ヶ谷市教育委員会

下記の物品を鎌ヶ谷市郷土資料館の資料として、確かにお預かりしました。

記

物 品 名	数 量	寄 託 期 間	備 考

## IV 寄 贈 図 書

都道府県	発行機関	書名
宮城	奥松島縄文村歴史資料館	パンフレット 国史跡 赤井官衙遺跡群—赤井官衙遺跡 矢本横穴— 令和2年度講演会記録集 縄文時代に活躍した丸木舟 —丸木舟が運んだ南からの縄文ルーツ— 年報 令和元年度
福島	南相馬市博物館	第23回企画展パンフレット 古代から中世へ—常陸における社会と文化の変動期— 年報 第26号
茨城	上高津貝塚ふるさと歴史の広場	紀要 泉石 14号 年報 vol. 28
	古河歴史博物館	古河市合併15周年 開館30周年記念特別展示図録 「国宝参上。一鷹見泉石像と古河ゆかりの文化財—」
	つくば市教育委員会	パンフレット 国指定史跡 小田城跡 パンフレット 国指定史跡 ~平沢官衙遺跡~ つくばの正倉院
栃木	栃木県立博物館	第126回企画展図録 「生誕250年記念 偉大なる無名画家 小泉斐」 特別展示図録 「令和の御大礼 —悠紀地方に選ばれた栃木—」 研究紀要—人文— 第37号
群馬	岩宿博物館	第71回企画展図録 「華開く！ぐんまの縄文文化」 第72回企画展図録 「岩宿時代の円形のムラ —環状ブロック群Part II—」 館だより オリジン vol. 89、90、91 年報 令和元年度 予稿集 岩宿フォーラム2020/シンポジウム 『北関東地方の環状ブロック群』 岩宿遺跡発掘70周年記念特別展③図録 「岩宿遺跡と群馬の考古学」
埼玉	岩宿博物館／相澤忠洋記念館 川口市教育委員会 教育総務部文化財課 行田市郷土博物館	川口史料叢書第二集 御用留近代編 第1巻 第30回テーマ展図録 「忍藩の武術」 行田市郷土博物館研究報告 第10集 収蔵品展図録 「忍藩主松平下総守家」 会報 第46号 市史 自然編 ~植物~ 市史 自然編 ~昆虫類~
	埼玉県地域史料保存活用連絡協議会 さいたま市	白岡市生涯学習センター歴史資料展示室 第3回企画展 みんなで護ろう！白岡遺産 ~鎌倉街道中道編~ 市史調査報告書 第22集 戸田市関係新聞記事索引(平成Ⅲ) 展示解説冊子 たんけん 昔のくらし 常設展示図録【リニューアル版】
	白岡市教育委員会	市史研究 葦のみち 第30号
	戸田市立郷土博物館	青山史学 第38号 —平田雅博教授退任記念号— 櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集 歴史民俗研究 第18回 令和2年度収蔵品展パンフレット 心を装う~衣服と飾りに込められた意味~ 第19回板橋区伝統工芸展 甲冑刀装—甲冑師・刀剣柄巻師・白銀師のあゆみ— vol. 3 特別展図録 「板橋と光学—いたばし産のカメラたち—」
東京	三郷市 青山学院大学文学部史学科 板橋区教育委員会 板橋区立郷土資料館	東武博物館だより No.166~171 学芸員 BULLETIN FOR CURATOR'S COURSE No.23 博物館だより No.128 郷土展示室ガイド
	一般財団法人東武博物館 学習院大学 学芸員課程委員会 葛飾区郷土と天文の博物館	令和元年度春期企画展図録 「飛鳥山三百年展—楽しい！だから続く、 吉宗がつくった江戸のワンダーランド—」 北区飛鳥山博物館 研究報告 第22号 館だより ぼいす 第44・45号
	北区飛鳥山博物館	青淵 第853~864号
	公益財団法人渋沢栄一記念財団 公益財団法人日本財団 國學院大學	国立ハンセン病資料館 資料館だより No.107~110 成果報告 朝倉家文書の世界 戦前期東京郊外の住環境と都市形成 —渋谷区代官山朝倉家文書を中心に— 研究報告 第36、37輯
	國學院大學博物館 國學院大學博物館学研究室 国立公文書館	國學院大學 博物館紀要 第44輯 国立公文書館NEWS vol. 23

- 渋沢史料館  
 昭和館  
 昭和女子大学 光葉博物館  
 浅草寺  
 大正大学博物館学芸員課程  
 台東区教育委員会  
 大東文化大学  
 教職課程センター事務室  
 東京都江戸東京博物館  
 豊島区  
 豊島区立郷土資料館  
 豊島区立雑司が谷旧宣教師館  
 日本大学理工学部  
 科学技術史料センター  
 練馬区立石神井公園ふるさと文化館  
 府中市郷土の森博物館  
 文京区  
 文京ふるさと歴史館  
 房総史料調査会  
 明治大学学芸員養成課程  
 明治大学博物館  
 靖國神社 祭儀課  
 靖國神社社務所  
 千葉県 愛国学園大学文化学部  
 我孫子市教育委員会  
 栗野の森の会  
 市川市  
 市立市川考古博物館  
 市立市川自然博物館  
 市立市川歴史博物館  
 伊能忠敬記念館  
 印西市立印旛歴史民俗資料館  
 印西市立木下交流の杜  
 歴史資料センター  
 浦安市郷土博物館  
 江戸川大学博物館  
 学芸員資格取得養成課程  
 大多喜町教育委員会  
 鎌ヶ谷市教育委員会  
 鎌ヶ谷市自治会連合協議会  
 鎌ヶ谷市立図書館  
 鎌ヶ谷地区保護司会
- 研究報告 渋沢研究 第33号  
 紀要 昭和のくらし研究第18号 戦後75年特集  
 館報 第21号  
 カタログ 羽化する渋谷 Emergence of Shibuya  
 2020年度秋の特別展図録 昭和女子大学創立100周年記念  
 「徳川將軍家を訪ねて—江戸から令和—」  
 佛教文化講座 講演録 第64集  
 学芸員課程年報 けやき 24号  
 調査報告書第62集・台東区の絵巻4 両大師縁起絵巻  
 調査報告書第63集 浅草寺の版木  
 調査報告書第64集 武蔵国豊嶋郡之記  
 大東文化大学博物館学講座だより 第14号  
 紀要 第10号  
 調査報告書 第34集 名所江戸百景と浪花百景  
 図録 「18世紀ソウルの日常 ユマンジュ日記の世界」  
 鈴木信太郎記念館だより 創刊号～第4号  
 生活と文化 第29、30号  
 かたりべ 豊島区立郷土資料館・ミュージアム開設準備だより  
 132～139  
 雑司が谷旧宣教師館だより 第64～67号  
 会報 CST MUSEUM 第21・22号  
 石神井公園 ふるさと文化館ニュース vol. 39、40  
 府中市郷土の森博物館だより あるむぜお No.131～135  
 年報 第23号  
 文京ふるさと歴史館だより 第27号  
 会誌 紙魚之友 第42号  
 紀要 Museum Study “2019年度明治大学学芸員養成課程紀要” 31号  
 年報 Museologist “2019年度明治大学学芸員養成課程年報” 35号  
 研究報告 明治大学博物館研究報告 第25号  
 『国家安泰・家内安全祈願』のご案内  
 靖國 第778号～788号  
 愛国学園大学人間文化研究紀要 第22号  
 随筆文学 続々湖畔吟 現代表記版 注解付  
 栗野の森の会 20周年記念事業  
 —未来に手渡す—栗野の森の自然 写真集～植物編  
 市川市史 歴史編Ⅳ 変貌する市川市域 通巻4  
 市史研究 いちかわ 第11、12号  
 館報 第47号  
 市川の国指定史跡  
 年報 平成29年度～平成31年度  
 市立いちかわ自然博物館だより 通巻175～192号  
 企画展図録 「葛飾八幡宮と八幡の藪知らず」  
 館報 平成30年度・令和元年度  
 年報 第21号  
 研究紀要 第2号  
 市史研究 印西の歴史 第12号  
 浦安市郷土博物館調査報告 浦安の漁撈民具3  
 浦安の漁法一覧・海苔網・延縄 第16集  
 年報 第19号  
 年報 Vol. 11  
 田代分校の民俗資料  
 鎌ヶ谷市内遺跡発掘調査報告書 第35集 “丸山遺跡(4次)  
 南後山No.1遺跡(2次) 鎌ヶ谷五丁目所在野馬土手  
 木戸脇貝塚(15次) 向山No.1遺跡(16次)”  
 New Zealand Whakatane District  
 令和元年度鎌ヶ谷市中学生ワカタネ派遣事業 報告書  
 自連協ニュース No.128  
 かまがや図書館だより No. 80  
 保護司会だより 第42号

川村学園女子大学図書委員会 君津市立久留里城趾資料館	川村学園女子大学 研究紀要 第31巻第1・2号 令和2年度企画展解説書 「疫病ときみつの信仰―道切りを中心に―」 年報 41 資料館だより 51号
公益財団法人 航空科学博物館 公益財団法人 成田山文化財団 国立歴史民俗博物館	博物館ニュース エアロミュージアム 119号 成田山文化財団年報 第11号 国際企画展示図録 「昆布とミヨク 潮香るくらしの日韓比較文化誌」 令和2年度企画展示図録 「性差(ジェンダー)の日本史」 国際展示図録 「東アジアを駆け抜けた身体―スポーツの近代―」 要覧 2020年度
佐倉市	佐倉市史研究 第33号 佐倉市史料叢書 村会雑俎 1
佐倉市教育委員会文化課	国史跡 井野長割遺跡 指定15周年記念展示リーフレット・展示リスト ゼーンぶ佐倉の縄文展―地面の下の造形美―
佐倉市立美術館	小林ドンゲ展図録 「小林ドンゲ展 ファム・ファタル(妖婦)」 企画展図録 「久保浩 ―「眼と手」の力展」 企画展カタログ 「大正イマジユリイの世界」と佐倉 企画展図録 「Chaosmos 6:Into the Silent Spring 沈黙の春に」
淑徳大学アーカイブズ 白井市教育委員会	淑徳大学アーカイブズ・ニュース 第21、22号 白井市埋蔵文化財調査集報 文化財解説シート 白井市指定文化財「上人塚」 No.14 調査報告書第14集 谷田井上家文書史料目録 白井市文化財基礎調査報告書
白井市郷土史の会 白井市郷土資料館 新京成電鉄株式会社	機関誌 たいわ ―語り伝える白井の歴史― No.35 年報 15～17号 すてっぷ 2020 C i a O Vol.150～154
袖ヶ浦市郷土博物館	令和2年度企画展Ⅰ図録「ごはんの作り方」 ―米作りから見る、暮らしと祈り―
第五回地域史惣寄合呼びかけ人 館山市立博物館 地域新聞社船橋支部 千葉県 千葉県教育委員会	第五回 地域史惣寄合報告集 地域史・学校・博物館 館山市立博物館報 ミュージアム発見伝 No.94 鎌ヶ谷版 ちいき新聞 vol.1005～1054 ガイドブック ちば文化資産GUIDE 埋蔵文化財調査報告第33集 袖ヶ浦市東泉遺跡・文脇遺跡 ―主要地方道千葉鴨川線(袖ヶ浦市高谷)県単道路改良事業埋蔵文化財発掘調査報告書3― 千葉県南房総市正文寺やぐら群 ―千葉県やぐら調査報告書3―
千葉県史料保存活用連絡協議会 千葉県博物館協会	埋蔵文化財調査報告第35集 成田市関戸関ノ台遺跡 ―一般国道464号北千葉道路事業埋蔵文化財発掘調査報告書3― 埋蔵文化財調査報告第37集 流山運動公園周辺地区埋蔵文化財発掘調査報告書6 ―流山市後平井中通遺跡―
千葉県文書館	埋蔵文化財調査報告第38集 市原市市原条里制遺跡 ―(仮称) スポレク健康スクエア用地管理事業埋蔵文化財発掘調査報告書― 千葉県内縄文時代集落・貝塚 詳細分布調査報告書 千葉史協だより 第51～53号 博物館協会報 ちばの博物館 No.145 研究紀要 MUSEUM ちば 第46号
千葉県北西部地区 文化財行政担当者連絡協議会 千葉県立関宿城博物館	千葉県文書館 第25、26号 展覧会カタログ 「千葉県と疫病」 ―くり返す脅威― 収蔵文書目録第三十三集 市原市分目 岡田(利)家文書目録1 収蔵文書目録第三十四集 市原市分目 岡田(利)家文書目録2 第11回 千葉県北西部地区文化財発表会 海と生きる 自然の恵みと人の知恵 開館25周年記念企画展図録 「関東のへそ～地勢とくらしのヒストリー～」
千葉県立中央博物館	研究報告 第24、25号 令和2年度企画展解説書 ちばの縄文 ―貝塚から探る縄文人のくらし―

- 千葉県立中央博物館大多喜城分館  
千葉県立中央博物館／  
房総の山フィールド・ミュージアム  
千葉県立美術館
- 千葉県立房総のむら
- 千葉市
- 千葉市教育委員会  
千葉市美術館  
千葉市立加曽利貝塚博物館
- 千葉市立郷土博物館
- 東金市郷土研究愛好会
- 流山市教育委員会  
流山市立博物館  
流山市立博物館友の会  
習志野市教育委員会  
成田市教育委員会  
野田市  
野田市教育委員会  
野田市郷土博物館
- 野田市郷土博物館／市民会館  
船橋市遺跡調査会  
船橋市教育委員会  
船橋市教育委員会  
飛ノ台史跡公園博物館  
船橋市教育委員会  
飛ノ台史跡公園博物館／縄文  
コンテポラリー展実行委員会  
船橋市郷土資料館
- 船橋市郷土資料館／船橋市  
飛ノ台史跡公園博物館  
船橋よみうり新聞社  
北総鉄道株式会社  
北部地区社会福祉協議会  
松戸市戸定歴史館  
松戸市立博物館  
松戸市立博物館友の会  
茂原市史編さん委員会
- 八千代市立郷土博物館  
横芝光町教育委員会
- チバミュージアムフェスタ2020解説書  
～千葉県立美術館・博物館展覧会～  
「「オリンピック・パラリンピック」と千葉のスポーツ史」  
研究報告 第15巻第1号  
令和2年度企画展図録 福を呼ぶ小袖と房総の万祝  
ニュースレター しいむじな 65～68
- 館報 みる・かたる・つくる VOL.47  
令和元年度特別展図録  
「絵のみち・祈りのところ 日本画家 後藤純男の全貌」  
展覧会図録 「千葉の新進作家vol.1 志村信裕 残照」  
作品展図録 「魔法の手 ロッカクアヤコ作品展」  
体験案内 体験のしおり 令和2年度・令和3年度  
展示解説書 令和2年度屋外展示 千葉のまつり  
令和2年度千葉氏公開市民講座 講演録  
武家社会確立期の権力と権威  
—千葉氏をはじめとした東国武士の動向から読み解く—  
千葉いまむかし No.33  
美術館ニュース C'n scene news 94号  
貝塚博物館紀要 第46号  
令和2年度企画展リーフレット あれもEこれもE  
—加曽利E式土器 北西部地域編—  
ちば市史編さん便り No.24、25  
研究紀要第26号  
令和2年度特別展図録  
「軍都千葉と千葉空襲—軍と歩んだまち・戦時下のひとびと—」  
千葉市史 資料編10 近代1  
古文書調査報告書 東金市菱沼土屋家文書調査報告書 一目録編—  
古文書調査報告書 東金市菱沼土屋家文書調査報告書 一史料編—  
古文書調査報告書 東金市菱沼土屋家文書調査報告書  
—追加(第4次)調査—付、東金市域の諸家文書目録  
文書目録 恩田家文書目録(1)  
年報 No.42 令和(平成31)年度  
東葛流山研究 東葛坂道事典 第38号  
習志野市歴史・文化財マップ  
市史研究 成田市史研究 第44号  
市史研究 野田市史研究 第30号  
令和元年度野田市内遺跡発掘調査報告  
令和2年度特別展図録  
「まちの記憶 写真でたどる野田・関宿の昭和30→40年代」  
年報・紀要 第12、13号  
発掘調査報告書 上ホシ遺跡(1)  
BUNBUN Funabashi. 第13号  
飛ノ台史跡公園博物館紀要 第16号
- 第19回縄文コンテポラリー展inふなばし図録  
「遺跡のアート劇場」～縄文から古代イタリアそして現代へ～
- 年報 平成30年度・令和元年度  
調べてみよう！船橋 調べ方の手引き  
館報みゅーじあむ・船橋 vol.14、15
- 船橋よみうり No.1301  
ほくそう vol.115～119  
北部地区社協だより No.56  
企画展図録 「プリンセス・トクガワ 近代徳川家の女性たち」  
博物館紀要 松戸市立博物館紀要 第27号  
会報 第117、118号  
茂原市史調査報告書 第五集  
茂原市石造物調査報告書(2)～神社 ほか～  
茂原市史調査報告書 第六集  
茂原市古文書目録集(その十)と代表的史料  
館報 No.26  
図録 「尾垂観音」 一尾垂観音新隆寺の百観音—

		令和2年町民ギャラリー展示図録 「横芝光町出土の中・近世陶磁器」 令和2年町民ギャラリー展示図録・平成31年調査報告 「山武姥山貝塚」 四街道市の歴史 資料編近現代3 資料編近現代3 国府台 和洋女子大学 文化資料館・博物館学課程 報告 23～25号
神奈川	四街道市 和洋女子大学 文化資料館 ／博物館学課程 神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館だより 第42～44号 年報 令和元年度 会報 第46号
	神奈川県歴史資料取扱機関 連絡協議会 神奈川大学日本常民文化研究所	民具マンスリー “第52巻10～12号第53巻1～12号(通巻622～636)” “歴史と民俗 神奈川大学日本常民文化研究所論集36” 特集 民具研究の新時代 36 “歴史と民俗37神奈川大学日本常民文化研究所論集37” 特集 交差する日本農村 37
	川崎市市民ミュージアム 公益財団法人 馬事文化財団 寒川町 首都圏形成史研究会	川崎市市民ミュージアム 紀要 第32集 秋季企画展「和の匠 浮世絵に生きる馬の風景」 寒川町史研究 第31号 首都圏史研究 2019 首都研ネットワーク 第88号
	専修大学 教務課 資格課程係 鶴見大学博物館学芸員課程 平塚市博物館	令和元(平成31)年度資格課程年報-Passo a Passo 第22号 鶴見大学博物館学芸員課程年報 第1号 自然と文化 BULLETIN OF THE HIRATSUKA CITY MUSEUM No.43 令和2年度秋期特別展図録 「よみがえる少年の日々 —佐草健ボールペン画展—」 市民が歩んだ80年 —「藤沢らしさ」を求めて— 別編4 藤沢市史料集 相模国鎌倉郡片瀬村「御用留」4 四十三 歴史をひもとく藤沢の資料 善行地区・湘南大庭地区 5 開港のひろば No.148～150
新潟	藤沢市 藤沢市文書館	十日町市埋蔵文化発掘調査報告書 第70集 野首遺跡発掘調査報告書Ⅲ(遺物編2) 年報 第6号 要覧 2020 秋季特別展図録 「縄文の遺産 Jomon Heritage —雪降る縄文と星降る縄文の競演—」 館報 NKH 第104号 研究報告 BULLETIN OF THE NAGAOKA MUNICIPAL SCIENCE MUSEUM 第55号
	横浜開港資料館 十日町市教育委員会 十日町市博物館	新史料協だより No.26 歴研ニュース No.105～111 年報 ⑱ 林遺跡第7次 発掘調査報告書 吉岡下ノ段遺跡第14次・吉岡原遺跡第14次 発掘調査報告書 島田市博物館だより VOL. 24、25 沼津市明治史料館通信 通巻142、143号 令和2年度第2回企画展図録 「マエヘススメ!～沼津の体育・スポーツ史～」 沼津市博物館紀要 44
	長岡市立科学博物館	紀要 第39号 かがみはら百科 No.01 資料図録「水谷隆信収集資料図録」
新潟	新潟県歴史資料保存活用連絡協議会 飯田市歴史研究所	資料概要リーフレット 水谷隆信収集資料の概要 紀要 第26号 栗東歴史民俗博物館だより Vol. 41 令和元年度秋季特別展図録 「森本晴雲～詩墨画の世界～」 開館20周年特別展図録 「日吉ダムのあゆみ—川とともに暮らした人びと—」 南丹市立文化博物館だより 第16号 令和2年度郷土資料解説書 幕末から明治のくらし～転換期に生きた丹波の人びと～ 収蔵資料目録 岩崎革也宛書簡集Ⅲ 第6集
長野	掛川市教育委員会	
静岡	島田市博物館 沼津市明治史料館	
愛知	沼津市歴史民俗資料館／ 沼津市明治史料館	
岐阜	南山大学人類学博物館	
滋賀	各務原市教育委員会 滋賀県ミュージアム 活性化推進委員会	
	栗東歴史民俗博物館	
京都	南丹市日吉町郷土資料館 南丹市立文化博物館	



- 大阪 朝日新聞大阪本社企画部  
 柏原市立歴史資料館
- 羽曳野市教育委員会
- 枚方市教育委員会文化財課
- 個人
- 収蔵資料目録  
 夜を彩る文化の華 ランプ ―江上進コレクション― 第7集  
 秋季特別展図録 「八木城と内藤氏―戦国争乱の丹波―」  
 旧八木小学校所蔵文書調査報告書 第七集  
 企画展図録 「古代の美とロマンをもとめて「日本列島発掘展」」  
 令和元年度春季企画展図録「龍田古道 あの山を越えれば」  
 館報 第32号  
 古文書調査報告書 第14集 末吉康三郎家文書目録  
 古文書調査報告書 第15集  
 河内国志紀郡柏原市村 柏元家文書目録IV  
 羽曳野市埋蔵文化財調査報告書 85 古市遺跡群XL I  
 羽曳野市埋蔵文化財調査報告書  
 平成29年度 羽曳野市内遺跡調査報告書  
 枚方市史年報 第22号  
 小金原御鹿狩のことがわかる 徳川將軍の小金原御鹿狩  
 嘉永二年將軍家慶による小金原御鹿狩を読み解く

## ○ 西部小学校6年生 (7/13)

- ・色々と、教えてもらって勉強になりました。歴史に興味があるので、本当にありがとうございました。
- ・わざわざ私達のためにおこし頂きありがとうございます。お話全て心に残りました。楽しかったです！
- ・色々なことを教えてくださってありがとうございます。教科書にのっていないこともあってびっくりしました。
- ・わざわざありがとうございます。お話を聞いて社会の勉強に頑張って取り組んでいこうと思いました。
- ・ありがとうございました。話を聞いている中で、あらためて昔の人がすごいと感心しました。
- ・縄文土器の模様の付け方や鎌ケ谷には多くの遺跡がある事を教えてくれてありがとうございました。
- ・貴重な体験をさせていただきありがとうございます。縄文時代のことがよく分かりました。
- ・鎌ケ谷に遺跡が100ヶ所以上もあってびっくりしました。たくさんを知ることができました。
- ・歴史のことについて教えてくれてありがとうございました。かいの名前をいっぱい知れてよかったです。
- ・鎌ケ谷市にも土器が見つかったことにびっくりし、土器もさわっていい体験でした。
- ・道具を割って、病を治す話が面白かったです。資料をこれからの勉強で使っていきます。
- ・コロナの中来てくれてありがとうございます。鎌ケ谷の遺跡の事を話してくれてありがとうございました！
- ・土器や遺跡について教えてくれてありがとうございます。実物とか説明もわかりやすく勉強になりました。
- ・土器がほとんど割れた状態で出土してて、びっくりしました。
- ・鎌ケ谷市に遺跡が131ヶ所もあったことにおどろきました。
- ・縄文土器や矢の石を見せてくれてありがとうございます。黒よう石の矢があるなんてはじめてでした。
- ・社会には、あんまり興味がなかったけど、少し社会が好きになりました。45分間だったけれど楽しかったです。
- ・ぼくは、三内丸山遺跡など有名な遺跡ばかり調べていましたが、今回の授業で地元にも視野が広がり、こんなに地元にも遺跡があるのだなととてもおどろきました。本当にありがとうございました。
- ・黒よう石きらきらしていてかっこよかったです。また見せてください
- ・縄文時代のことをくわしく教えて下さってありがとうございます。歴史にくわしくなるようがんばります。
- ・貝や土器をさわられる特別な体験をさせていただきありがとうございました。
- ・昔の家と現代の家が、材料も形もすべてちがうなどということを教えてくれてありがとうございました。
- ・ぼくは歴史が好きですけど知らないことばかりでした。きちょうな時間をありがとうございました。
- ・私は、鎌ケ谷にも縄文時代に人が住んでいたとしてとてもうれしかったです。
- ・縄文土器のかけらやこくようせきでできた物などがあってきょうどしりょうかんにいってみたいになりました。
- ・私は、この鎌ケ谷に弥生土器がなかったことにおどろきました。いつか見つかるといいですね。
- ・土器のかけらや、ツルツルの石などおもしろかったです！
- ・昔の生活や使っていた器。そのほかのこともいろいろ知れてよかった。石の刀みたいのも見れてうれしかった。
- ・たくさん貝がらを見て、こんなに土から発見したんだ！とびっくりしたけど、きれいだなぁと思ったし、実際にさわってみたいと思いました。
- ・コロナが収まったら郷土資料館に行ってみたいです！

## ○ 北部小学校4年生 (12/8)

- ・インターネットで調べた時よりも、もっとくわしく分かることができました。
- ・佐津間城の歴史について教えてくださりありがとうございました。たくさん知ることができました。
- ・ぼくたちに宝泉院のことを教えていただきありがとうございました。とてもきちょうな体験になりました。

鎌ヶ谷市郷土資料館年報 第34号

〔令和2年度〕

令和4年1月20日発行

発行 鎌ヶ谷市郷土資料館

〒273-0124 千葉県鎌ヶ谷市中央1-8-31

TEL 047(445)1030

FAX 047(443)4502